

目黒南中学校 校章図案の説明

作品 No.	図案の説明
1	ひまわりや太陽のように明るく、月のように優しく生活を過ごしてほしいから。竹の子は大きく成長するから、竹のように大きく強く生きてほしい。
2	竹の子は大きくしなやかで強い竹になる。まだ竹の子でも大きくなってほしいから。輝いているのは、大人になったとき、輝いているような人になってほしいから。
3	南という字をかつこよくし、太陽のように明るい中学生になってほしいから。
4	南の文字をかつこよく、藤を書いておだやか、太陽のように明るい中学生になってほしいから。
5	南という字を昔っぽい字にした。左にある三本線は、希望、夢、道を表している。太陽は、七中、九中あわせて元気、明るいということを表現した。
6	ヒマワリと梅の花は桜だと思ったから。花びらのところがMに似ていて良いと思ったから。
7	太陽の意味と花の意味を表しているデザインにした。
8	南を英語にするとSouthなので、頭文字を取りSにした。翼は、南中の生徒にこれからの道に高く挑んでほしいという願いを込めて作った。両校のスクールカラーを取り入れることで、協働を表した。羽は目黒の目をモチーフにした。
9	勉強を頑張してほしいので、中央を万年筆にし、未来へ羽ばたいてほしいという願いで羽を描いた。南の字は、中が入っているように見える篆書体の字体にした。
10	周りの花は、目黒区のシンボルであるハギである。ハギには、主に4種類の色があり、七中や九中もそれぞれ2つの小学校から来て、合わせると4種類になる。ハギは、1つ1つの花は小さいが、ハギ同士が集まるととても美しいように、両校が関わりを大切にして、1人1人を大事にしてほしいという願いを込めた。さらに、ハギの中には冬に枯れてしまっても、春には花を咲くというハギがあり、生徒が社会で生きる力を育み、いつか社会で立派な人間になってほしいという願いを込めた。南の文字色は、両校のスクールカラーを合わせた紫にした。
11	周りの花は、目黒区のシンボルであるハギである。ハギには、主に4種類の色があり、七中や九中もそれぞれ2つの小学校から来て、合わせると4種類になる。ハギは、1つ1つの花は小さいが、ハギ同士が集まるととても美しいように、両校が関わりを大切にして、1人1人を大事にしてほしいという願いを込めた。さらに、ハギの中には冬に枯れてしまっても、春には花を咲くというハギがあり、生徒が社会で生きる力を育み、いつか社会で立派な人間になってほしいという願いを込めた。南の文字色は、両校のスクールカラーを合わせた紫にした。また、三重の丸は、両校の関わりを大切にしてほしいという願いを込めた。
12	円の部分は、いつでもどこでも繋がっている、助け合い、協力という意味を込めた。中心の線の部分は、中の字の中心の線、南の字の下部分、辛いことがあっても乗り越えていこう、あきらめない気持ち、自分の人生、道という意味。
13	中央に南と描いた。南の字の1・2画目が中、3・4画目は目黒のMになっている。7+9=16なので、とげのようなものを16個書いた。後ろのマークは太陽をイメージしている。
14	中央に南と描いた。南の字の1・2画目が中、3・4画目は目黒のMになっている。後ろのマークは太陽をイメージしている。上下左右を万年筆のようにした。
15	オオイヌノフグリの花言葉が信頼、忠実、清らかなので学校にぴったりだと思ったから。花の中心は太陽をイメージした。南の字は、印篆貫珠の南を、中やMに見えるようにした。
16	オオイヌノフグリの花言葉には、信頼とあったため、この花を選んだ。中央にある南は、中とMが入っているように見える字体を選んだ。全体的に寒色なため、中央は暖色の黄色にした。
17	南は暖かいというイメージがあるため、明るい赤、ピンク、オレンジを多く使った。そして、七中、九中を忘れないでほしいので両校の校章を描いた。星は、生きているときは赤く光るが、爆発すると徐々に青くなり、やがて消えることから、太陽をイメージして、うっすら覚えているという思いを込めて青色にした。また、コンパスのデザインは、七中と九中を足して南中ができるという、+(プラス)の意味でもある。